

②さいたま市図書館に関連ある新聞記事

平成 26 年度に各新聞に掲載された、さいたま市図書館に関連する新聞記事を載せております。

《さいたま市図書館に関連する新聞記事一覧》

掲載年月日	掲載紙	記事見出し
平成 26 年 6 月 29 日	読売新聞	国会図書館資料 閲覧県内で
平成 26 年 7 月 3 日	埼玉新聞	図書館職員が児童書を紹介 さいたま市で小冊子配布
平成 26 年 8 月 3 日	埼玉新聞	本の紹介でバトル さいたま市中央図書館中高生の参加者募集
平成 26 年 8 月 24 日	埼玉新聞	手作り親しまれ ブックガイド 25 号
平成 26 年 8 月 27 日	埼玉新聞	お薦めの本 熱く語る 中学生が書評で対戦 ビブリオバトル
平成 26 年 8 月 27 日	埼玉新聞	お気に入りの書物 蔵書票で鮮やかに 浦和区で講習会
平成 26 年 9 月 3 日	埼玉新聞	小学生に本との出会いサポート
平成 26 年 10 月 2 日	埼玉新聞	石井桃子氏の評伝著者が講演
平成 26 年 10 月 15 日	埼玉新聞	音声と画像、読書手助け 読むのが困難な人向け電子図書 中央図書館 閲覧室を開設
平成 26 年 11 月 14 日	読売新聞	デジタル化資料館内で閲覧 マルチメディアダイジェスト図書 さいたま・中央図書館
平成 26 年 12 月 8 日	埼玉新聞	幼児や小学生に絵本の製作講座 南区の武蔵浦和図書館
平成 27 年 1 月 6 日	読売新聞	袋の3冊どんな本？ 子ども向け福袋貸し出し 武蔵浦和図書館
平成 27 年 1 月 7 日	産経新聞	本の福袋 新しい世界見つけて！
平成 27 年 1 月 8 日	東京新聞	中にはどんな本？お薦め児童書福袋 さいたま市立武蔵浦和図書館
平成 27 年 1 月 21 日	埼玉新聞	多様な言語でおはなし会 大宮図書館で初
平成 27 年 3 月 3 日	埼玉新聞	利用者らが投票 お薦め70冊展示 浦和区の中央図書館
平成 27 年 3 月 4 日	埼玉新聞	岩槻歴史探訪「岩槻藩遷喬館と児玉南柯について」
平成 27 年 3 月 8 日	読売新聞	JR東浦和駅に図書館返却ポスト
平成 27 年 3 月 11 日	日本経済新聞	市内全館対象の図書返却ポスト さいたま市、東浦和駅に
平成 27 年 3 月 18 日	埼玉新聞	浦和区民の祭典 1万2千人来場 第3回コミュニティーフェス

②さいたま市図書館に関連ある新聞記事

中学生が書評で対戦 ビブリオバトル

中央図書館

お薦めの本 熱く語る

推薦本の書評を戦わせ、勝者を決める「ビブリオバトル」が27日、さいたま市浦和区の市立中央図書館で行われた。小学生に比べ、本選びの機会が少ない傾向にある中学生に、読書の楽しさを知ってもらおうと初めて開催。中学生5人が出場し、約40人の観客を前に熱戦を繰り出した。

浦和区 浦和区は、今年度の夏休みに「お薦めの本 熱く語る」をテーマに、5人ほそれぞれが、者と観客の両方で最も読みたい薦める本を紹介した。出場者は、と選んだ本に投票。得票が最も多まず、5分間で自分の選んだ本 だったものを「チャンプ本」の魅力についてスピーチ。3分 決選した。

観戦者たちも新しい本の楽しみ方に興味を持った。浦和明の里女子高1年で、同市西区の山崎美奈さん(18)は「普段、読む本を選ぶ時は自分の視点だけで決めるけれど、それぞれの人が好きな本の良さを語ってくれるから、知らなかった本にも出会える。私も友人を試してみたい」と刺激を受けていた。

今回のチャンプ本は、同市の図書館が製作している10代向け本紹介紙「はび」の来年1月発行に掲載される。ビブリオバトルの企画を担当した中央図書館の平間幸代さんは「中高生向けに年に1回は行いたいし、市内のほかの図書館にも広げたい」と手応えを感じた。また、

3年で同市大宮区の竹ノ内文香さん(14)が紹介した「かぐや姫物語」(川口雅幸著)に決まった。イベントを知った大学生の姉に勧められて出場した竹ノ内さんは「緊張して言いたいことの半分くらいしかしゃべれなかった。びびり」と感じられた様子。「今年の夏休みに、たまたま本屋で見つけた作品、すく感動したから、そのことを観客に伝えたかった」とはにかんだ。

より深く知りたいことについて補足説明する。

「あなたがドキドキした本」 5人の発表が終わると、出場者をテーマに、5人ほそれぞれが、者と観客の両方で最も読みたい薦める本を紹介した。出場者は、と選んだ本に投票。得票が最も多まず、5分間で自分の選んだ本 だったものを「チャンプ本」の魅力についてスピーチ。3分 決選した。

「お薦めの本 熱く語る 中学生が書評で対戦 ビブリオバトル」
埼玉新聞平成 26 年 8 月 27 日号

中にはどんな本？ お薦め児童書福袋

さいたま市立 武蔵浦和図書館
図書館職員がお薦めの児童書を詰め合わせた「子ども本の福袋」の貸し出しが27日、さいたま市立武蔵浦和図書館(同市南区別所)で行われた。

福袋は、同館の児童書担当者厳選した絵本や読み物、科学書など三冊入り。乳児から小学校高学年までの年代別に五種類、計百袋を用意した。どんな本が入っているかは借りるまで分からない。表面に書かれた「お薦すばんできる？」などのテーマを見ながら、子どもたちは楽しそうに福袋を選んだ。写真。

図書館の福袋は数年前から全国で広がり始めたとい、同市内では初の試み。企画した黒川芽実司書は「いつも読むお気に入りの本だけでなく、新しい本との出会いの場になれば」と話した。

(谷岡聖史)

「中にはどんな本？お薦め児童書福袋」
東京新聞平成 27 年 1 月 8 日号 (朝刊)

※新聞記事の無断転載を禁じます。
※記事掲載の写真を省略しております。